



## 新型コロナワクチン

## 7月から 4回目接種 開始

### 4回目接種の対象者は下記の通りです

※対象とならない方は、接種を受けることができません。

- ・安房4市町に限らず亀田のIDをお持ちの方
- ・3回目接種から5か月が経過した方
- ・60歳以上の方
- ・18歳～59歳で基礎疾患等を有する方等

※基礎疾患等については、鴨川市のホームページをご確認いただくか、受診時にご相談ください。

**接種会場** 亀田クリニック(受付:1階、接種:3階)

**接種開始** 7月1日(金)から  
金・土曜日(祝日を除く) 14:00～16:00

**使用ワクチン** 武田/モデルナ社ワクチン

**予約開始** 6月22日(水)から

### 予約方法

#### 《電話予約》

予約電話番号/04-7099-1330

対応日時/水・木・金曜日(祝日を除く) 14:00～16:00

※ご予約には診察券と接種券一体型予診票が必要です。  
※おかけ間違いのないようご注意ください。

#### 《インターネット予約》



左記QRコードまたはホームページ  
(<http://www.kameda.com/ja/clinic/>) から予約画面の案内に従って  
お申込みください。

※メールアドレスと接種券一体型予診票が必要です。  
※ガラケーからの申し込みはできません。

## Kameda Cup 2022

### 今年は規模を縮小して開催します



7月17日(日)、医療従事者のためのサーフィン大会「Kameda Cup 2022 in Kamogawa」(会場:鴨川市東条海岸マルキポイント)を3年ぶりに開催します。参加人数を減らし、安全に十分配慮した上で開催いたします。

詳細については、右記QRコード  
または大会ホームページをご覧ください  
<http://www.kameda.com/kamedacup/>

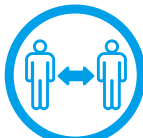


当日参加予定の方は下記のルールを必ず守ってください

### 感染予防対策にご協力ください



競技中を除く



黙食



大会前後に感染リスクを高める行動(会食や飲み会等)はお控えください

## 福祉用具専門相談員養成講習会のご案内

高齢者、障がい者の方が福祉用具を利用する際に、専門的知識、技術をもってサポートできる「福祉用具専門相談員」を養成する講習会を開催します。

詳しい内容は下記のとおりです。医療・福祉に関する資格をお持ちでない方でもご参加いただけます。



| 日 時   | 2022年7月28日(木)～2022年8月25日(木)の間 8日間(概ね9:00～17:00)                                                                                                           |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 場   | 亀田総合病院 継続学習センター 研修室                                                                                                                                       |
| 内 容   | 50時間<br>なお、1時間程度の修了試験があります。                                                                                                                               |
| 受 講 料 | 27,000円(消費税込み・テキスト代金含む)                                                                                                                                   |
| 定 員   | 30名                                                                                                                                                       |
| 申込締切  | 2022年7月20日(水)締め切り                                                                                                                                         |
| 申込方法  | ①履歴書(市販の物使用 B4サイズ、写真貼付)<br>②医療・福祉に関する資格があれば保有資格の修了証明書等の写し<br>③返信用封筒<br>(長形3号の封筒に94円切手貼付、宛先記入)<br>以上を郵送してください。<br>宛先 〒296-8602 鴨川市東町929<br>亀田総合病院 継続学習センター |
| 選考方法  | 書類選考後に受講決定通知書を発送いたします。                                                                                                                                    |
| 問い合わせ | 月～金曜日 9:00～17:00<br>TEL: 04-7099-1165(直通)                                                                                                                 |



東洋医学診療科 南澤 潔

### 第3話 魔法か まやかしか

5年ほど前に「ネイチャー」という、たいへん権威のある科学雑誌に興味深い論文が載りました。それは「5万年前、ネアンデルタール人は鎮痛剤や抗生物質の成分を含む薬草を利用していた可能性がある」という内容でした。

ネアンデルタール人というのは、我々ホモサピエンスの祖先との生存競争に敗れて滅びたと言われる旧人類です。その彼らがすでに石器時代に薬草の効果を利用していたかもしれないというのですから、より知識の蓄積に秀でていたと言われる我々の祖先である現人類も、当然この頃から薬草の知識を蓄積してきていたことでしょう。



いまでこそ漢方は「<sup>わら</sup>薬をもすがつつもりで受診しました」など、もし効けば儲けものの「薬」程度の存在かもしれませんが(笑)、ほんの100年ほど前には、まだこの世に抗生物質もなく、現代医学でも感染症を治療する事もできませんでした。150年前には病原菌が病気の原因になるということすらわかっていませんで

した。麻酔もまだ存在せず安全に手術もできませんでした。

現代に生きる我々からすると、医学と言えるものがあったのか？ とすら思えるような恐ろしい時代が終わったのは、まだほんの100年程前のことです。それ以前の、命を託せるしっかりした医学が存在しない時代に、もしも自分や大切な人が重い病気になったらどうしたでしょう??

当時、人々は加持祈祷などの超常現象に頼るか、薬草の類に望みを託すしかありませんでした。文字通りまさに命懸けで薬草を探して試したはずです。当然失敗して効果がなかったり、場合によっては毒草を食してしまったりとたくさんの犠牲も払ったことでしょう。しかしときには有用な薬効を持つ草根木皮の類が見つかることもあり、その経験が受け継がれ蓄積されていったと推察できます。

2000年近くも前の古代の医学書なんて…とお思いになるかもしれませんが、第2話でご紹介した医学書「傷寒論」は数万年の永きに亘る(?) まさに我々の祖先が長年掛けて積み上げてきた命懸けの経験知の集積なのです。

そう思うと「漢方なんて…」と思っておられた方も、少し見方が変わりませんか? (\*^^\*)



医療エッセイのバックナンバーは下記よりご覧いただけます

<http://www.kameda.com/ja/general/about/magazine/index.html>



## 医師紹介

むらしま たかゆき  
村島 隆之 医師

- ①担当科目
- ②診療における得意分野
- ③趣味
- ④ひと言



- ①皮膚科
- ②皮膚科全般
- ④将棋
- ④優しく接します。



Kameda Medical Center

亀田ホームページ <http://www.kameda.com>